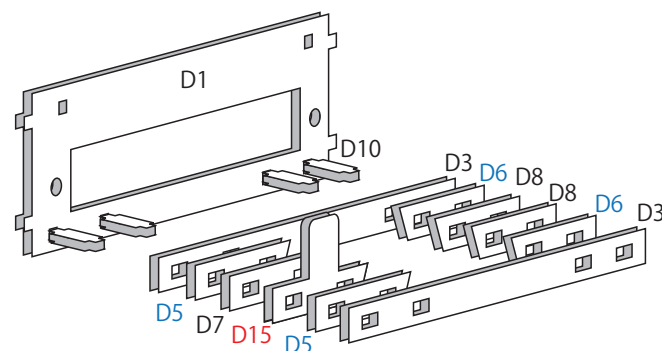
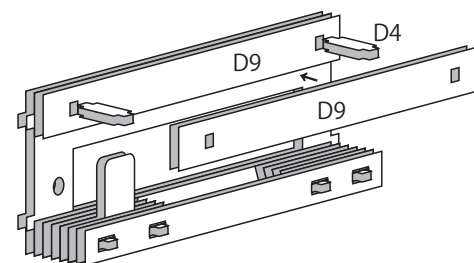


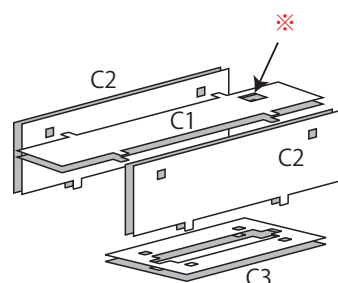
ラチェットの組み立て



- 1 D1の筐体パーツ下部にD10のピンを4個差し込み図のようにDパーツ全てをセットする
特にD15の位置に注意すること
D5とD6の4パーツは厚みが2ミリです

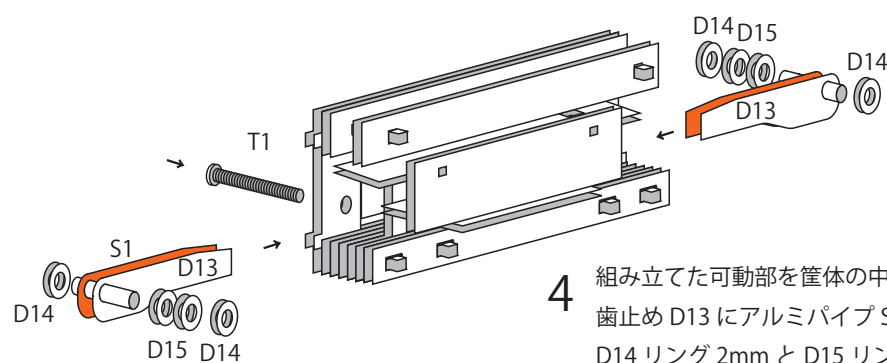


- 2 上部は一方のD9を穴に合わせて先に置いた後D4のピンを差し込み他方のD9もセットする

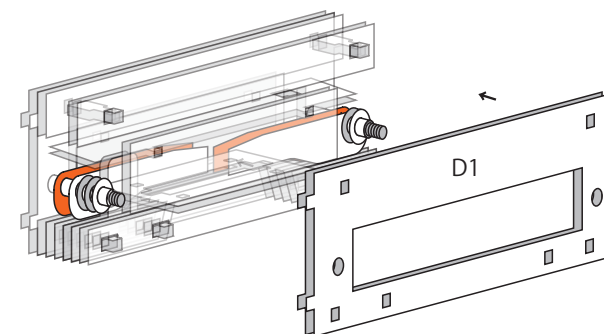


- 3 可動部は図のようにパーツC1の突起にC2の穴を差し込み確実に密着させた後、底部のC3を差し込む

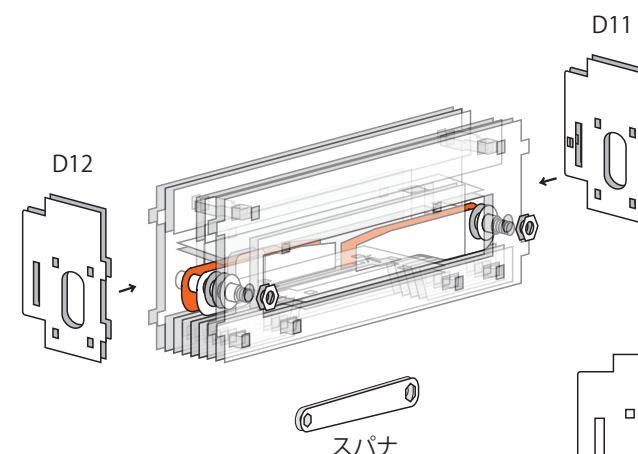
※ C1の穴位置は重要なので左右裏表を確認して必ず図のようにセットして下さい



- 4 組み立てた可動部を筐体の中に置きそれぞれの歯止めD13にアルミパイプS1を通したらD14リング2mmとD15リング3mmを図のようにセットして可動部に滑り込ませアルミパイプを筐体の穴に差し込む
差し込んだアルミパイプにボルトT1を通し仮止めしておく

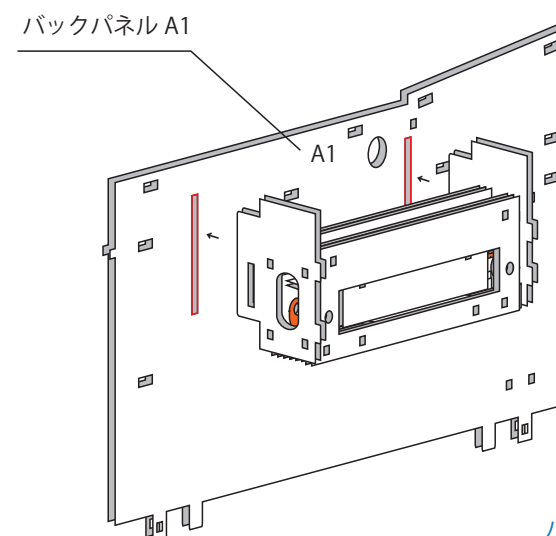


- 5 残った片方のD1パーツをそれぞれの穴に合わせてはめ込む



- 6 貫通したボルトT1とナットT2を付属のスパナを使って締めてD11とD12をそれぞれ図の位置にセットする

※ D11とD12は突起の位置形状が異なるので注意して下さい D11



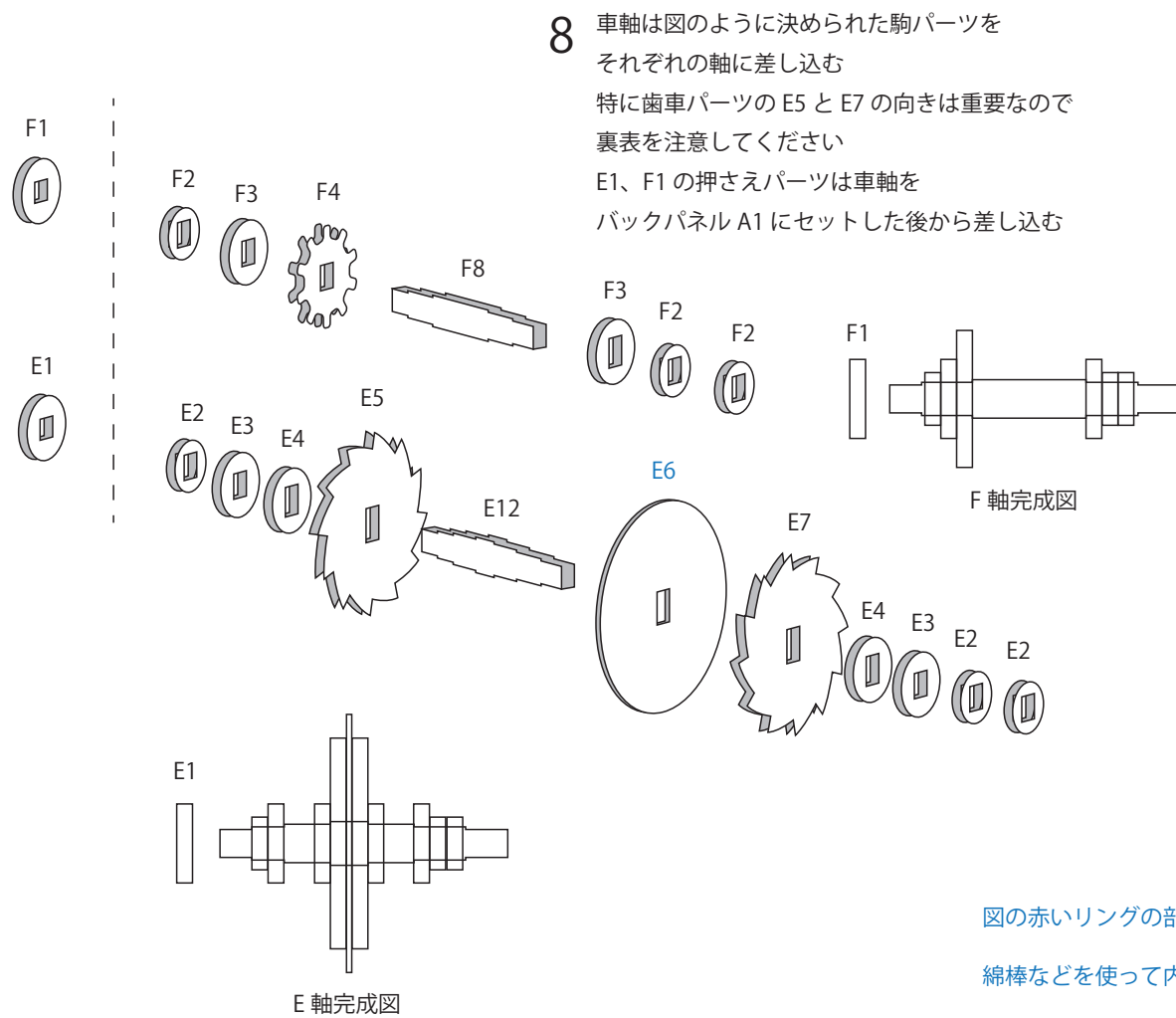
- 7 完成したラチェットユニットをA1バックパネルのスリットに差し込み仮止めしておく

バックパネルのスリット図の赤いラインの部分に付属の潤滑油を塗ると滑らかな動きを得る事が出来ます。

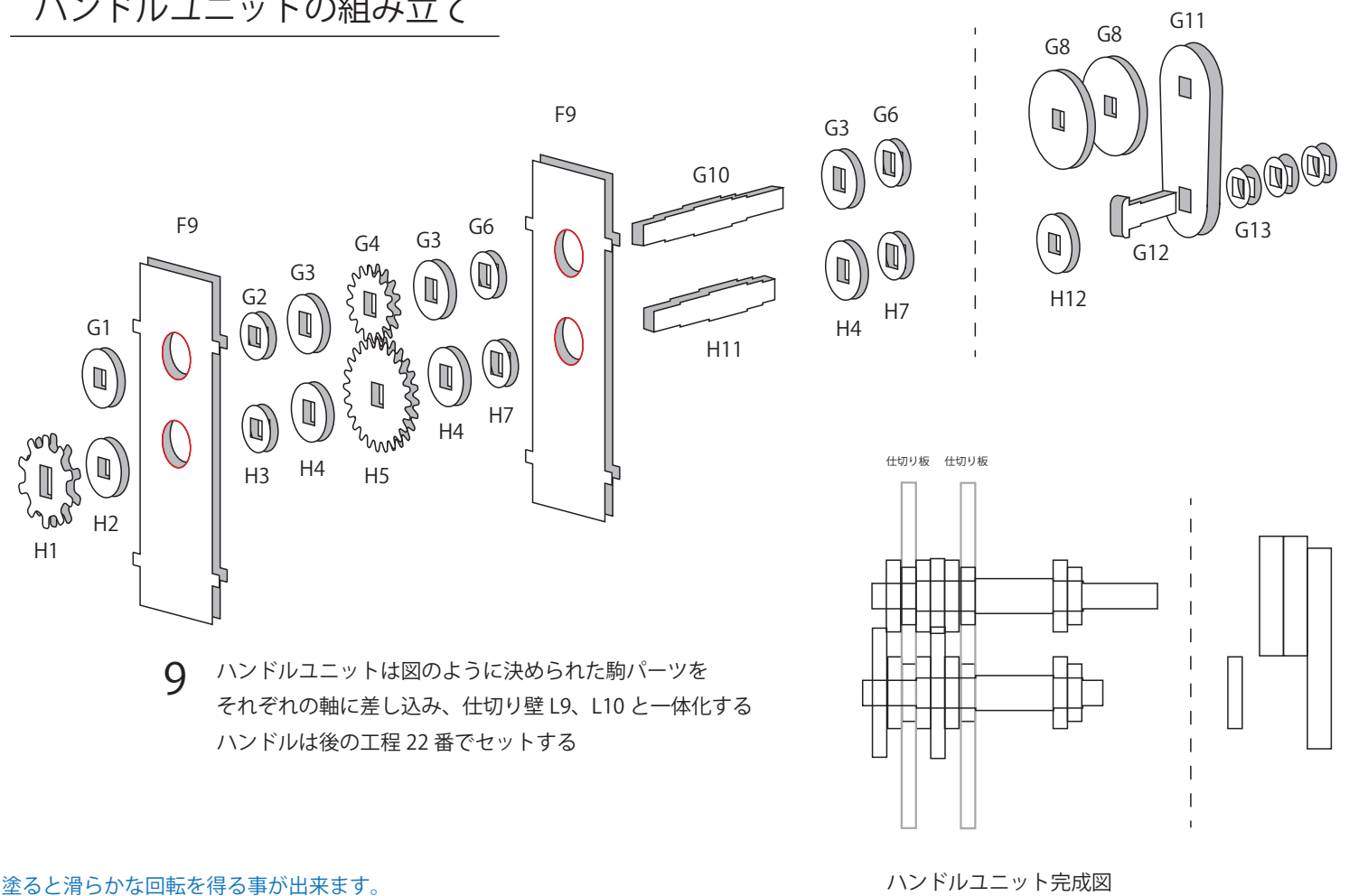
綿棒などを使って内側に最小限の量を塗布すると美しく仕上がります。



車軸の組み立て

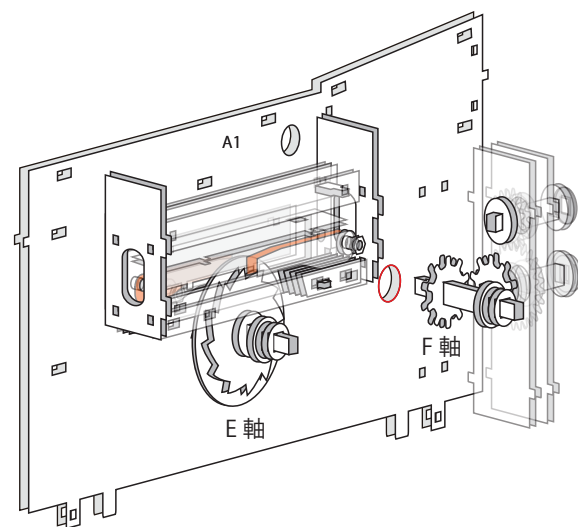


ハンドルユニットの組み立て



図の赤いリングの部分に付属の潤滑油を塗ると滑らかな回転を得る事が出来ます。

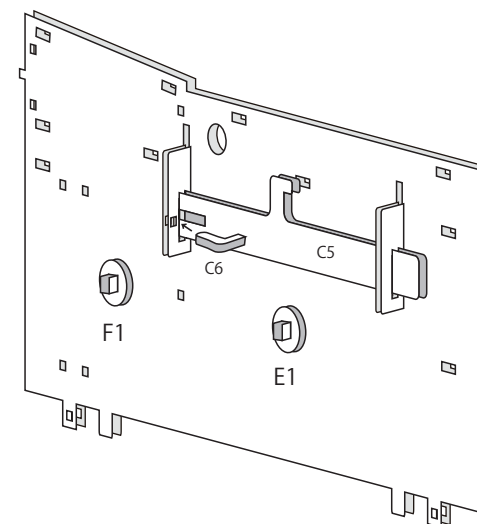
綿棒などを使って内側に最小限の量を塗布すると美しく仕上がります。



10 E 軸と F 軸は図の位置にセットしますが
E 軸は歯車仕切り板 E6 がラチェットユニットの歯止め爪 D13 を分断するセンターの位置に来る様にセットする

ハンドルユニットと F 軸をセットすると
歯車 F4 とハンドルの H1 が噛み合います

軸が正しくセット出来たら裏にそれぞれの押さえパーツ F1、E1 を差し込み軸を固定する

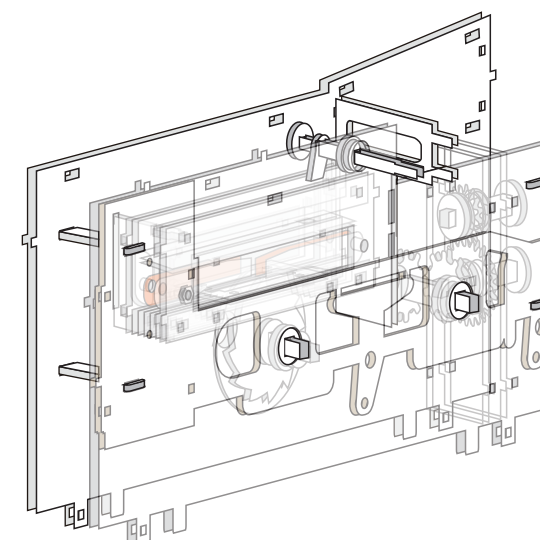


11 E 軸とラチェットユニットが正しくセットできたら
裏側に飛び出たパーツのスリットにスライドバー C5 を差し込んだ後
D11 の穴にストッパー C6 を差し込む

スライドバーは飛び出たパーツの内側から交互に差し込みます

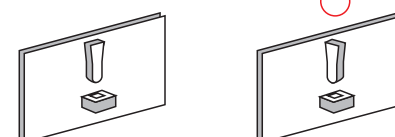


- 12 逆転機は P1 のシャフトに図の
P6 から P4 までのパーツを差し込んでおく
P8、P2、P3、はそれぞれ工程 21 と 29 で取り付ける



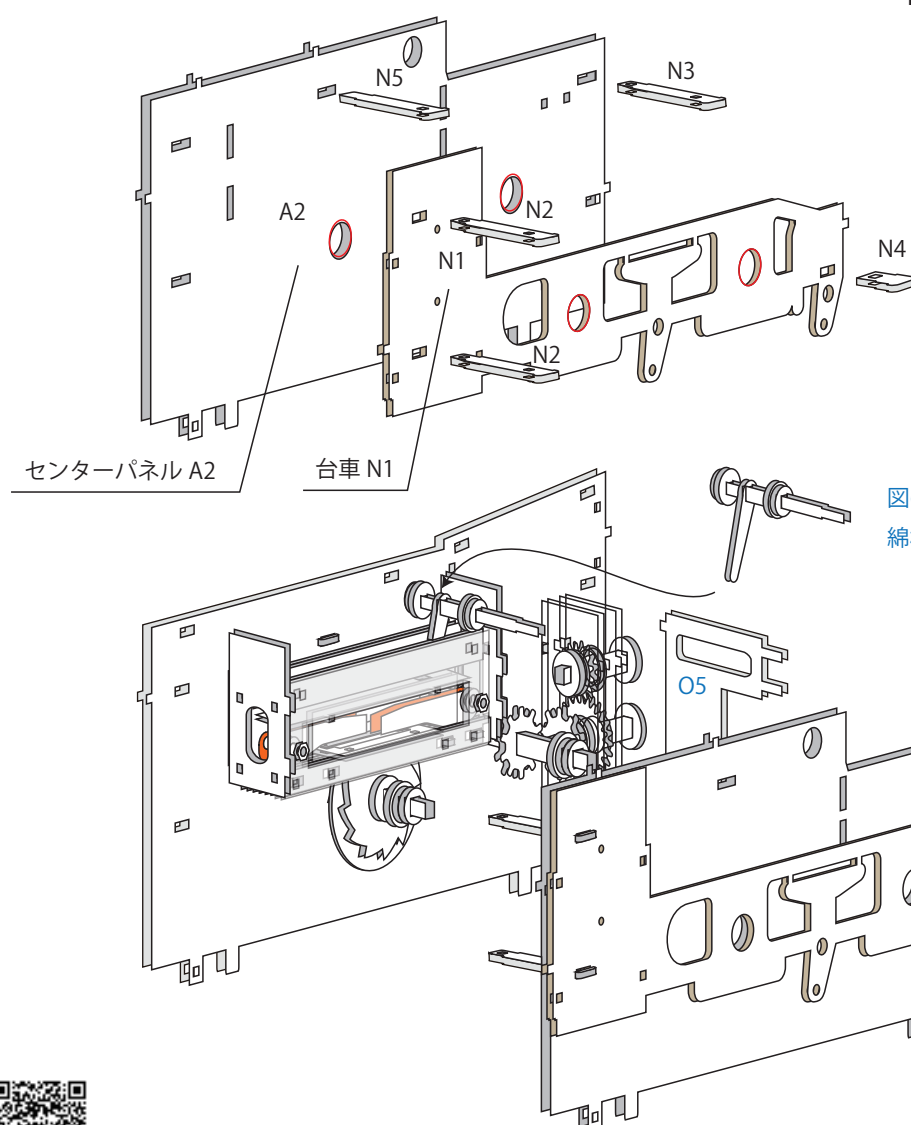
- 15 センターパネルはバックパネルに取り付けた
ラチェットユニット、2ヶ所の車軸、逆転機、
ハンドルユニット仕切り壁の突起を
慎重に合わせながら
4個のピン N2、N3、N5 を全て差し込み
裏に出た N2、N3 の穴にクサビを打って固定する

- 13 センターパネル A2 に台車 N1 を繋ぎパーツ
N2 と N4 を使って取り付け
繋ぎパーツ 3 箇所は台車の前から差し込み
センターパネルを貫通させて裏に飛び出た手前の穴に
クサビを打って固定する
N5 と N3 はセンターパネル図の穴に差し込み
N2 と同様クサビで固定する

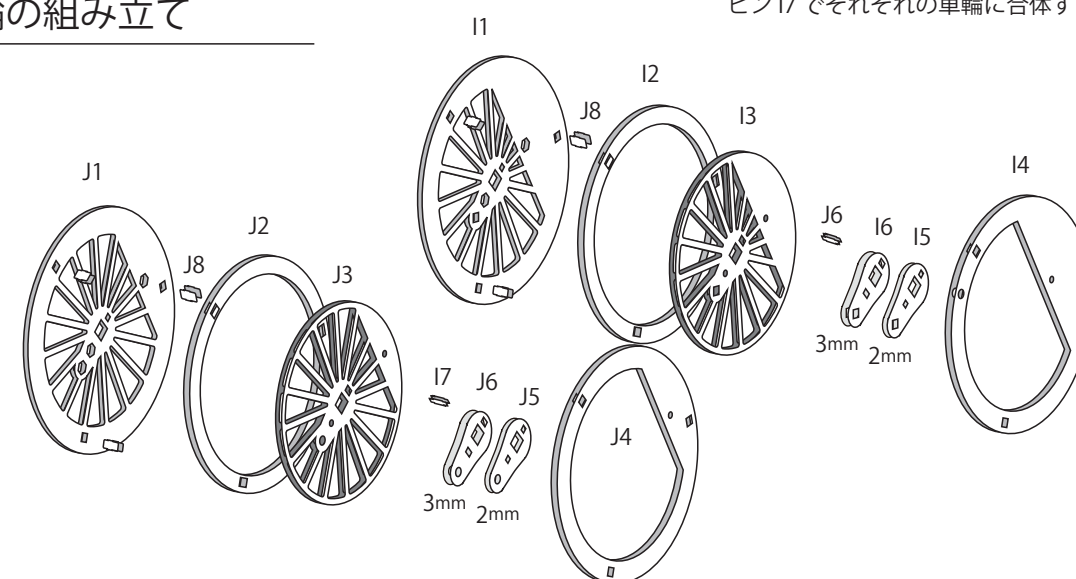


クサビはパネルに対して平行より直交する方が良く効きます

図の赤いリングの部分に付属の潤滑油を塗ると滑らかな回転を得る事が出来ます。
綿棒などを使って内側に最小限の量を塗布すると美しく仕上がります。



- ## 14 逆転機のシャフトは P5 のアームが ラチェットユニット C1 の穴にささる様に セットする
- ラチェットユニットのスライドガイドとなる
05 はラチェットユニット横のバックパネル角穴
に差し込む

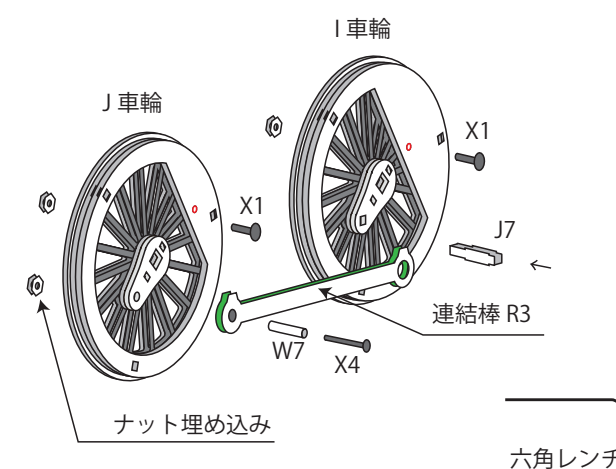


- 17 重なった車輪は赤印の穴を通してボルト X2 と
車輪裏の六角穴に埋め込んだナット Y1 で固定する

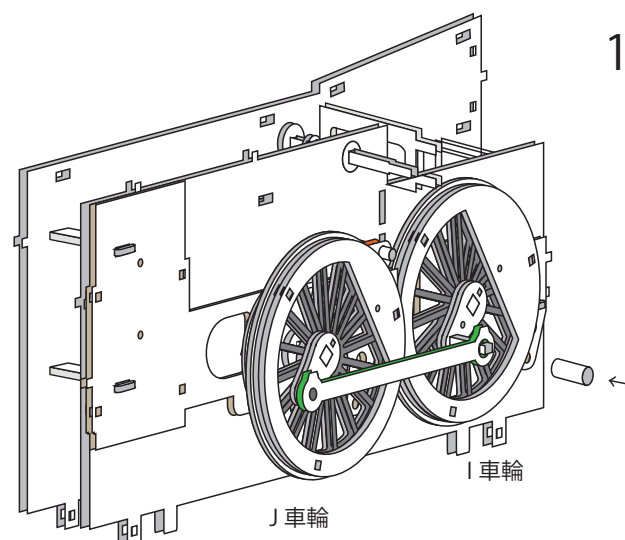
ピン J7 は 1 車輪クランクの角穴に
長い方のくびれ奥まで差し込む

J車輪のクランク部に3ミリパイプ W7 を
差し込み連結棒 R3 をボルト X4 と
車輪裏の六角穴に埋め込んだナットで固定する

ボルトナット締めは付属の六角レンチを使って下さい

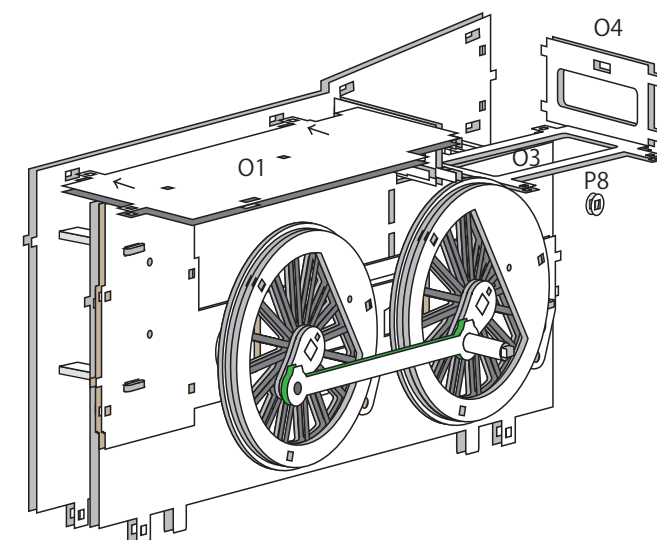


車輪の装着



- 18 センターパネルの車軸にまずI車輪を
図の位置に差し込む

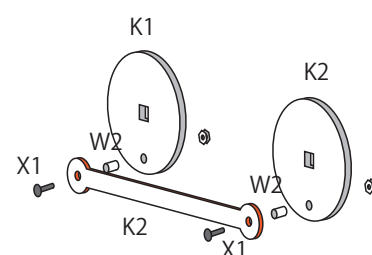
次にJ車輪の連結棒 R1 をI車輪のピン J7 に
差しながら同時にJ車輪を車軸に取り付ける
最後に6ミリアルミパイプ Z1 を連結棒の穴を
通しピン J7 に被せる



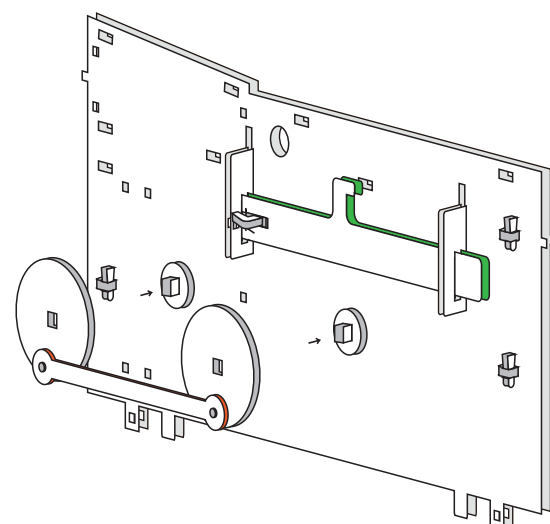
- 21 天板 O1 は突起をバックパネルに
差し込み浮かせながらセンターパネル
の突起にはめ込む

タンク部のパーツ O3, O4. は
バックパネルに差し込み
逆転機のパーツ P8. もシャフトに差し込む

裏車輪の組み立て

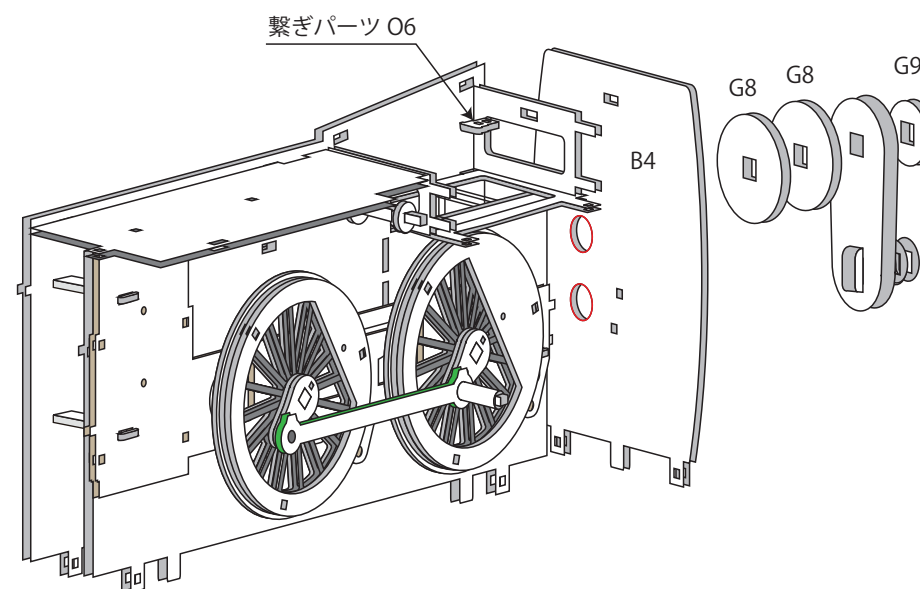


- 19 裏車輪の穴にアルミパイプ W2 を差し込み
ボルト X1 ナットで連結棒 K2 を取り付ける



- 20 本体裏側に出た軸に裏車輪をセットする

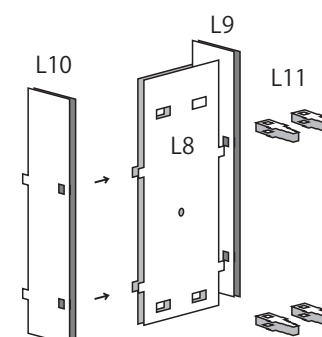
この時の軸に対するクランクの位置角度は
表車輪と裏車輪が同じ位置角度にならない
事が大切です
必ず別紙の図の様にセットしてください



- 22 サイドパネル B4 はバックパネルの突起
ハンドルユニットの軸、センターパネルの
突起などに位置を合わせながらはめ込む

はめ込んだら繋ぎパーツ O6 を O4 の
内側から差し込みサイドパネルを貫通
した穴にクサビを打って固定する

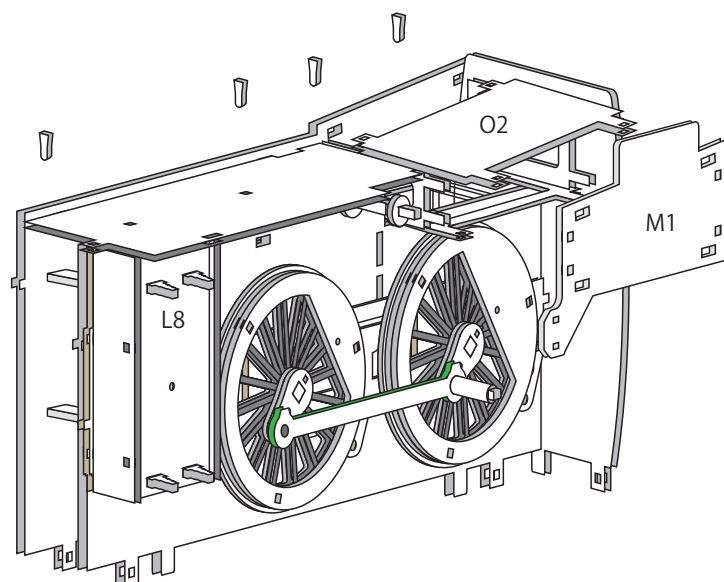
ハンドルはスペーサ G8 を 2 枚
差し込んでからハンドルを差し込む



- 23 エンジン部分の土台となるパーツは
センターパーツの L8 の角穴に、
繋ぎパーツ L11 を前から
差し込み裏に飛び出た穴にクサビを
打って固定する
サイドパーツ L9 と L10 は角穴を
センターパーツ L8 の突起に
押し付けてはめ込む

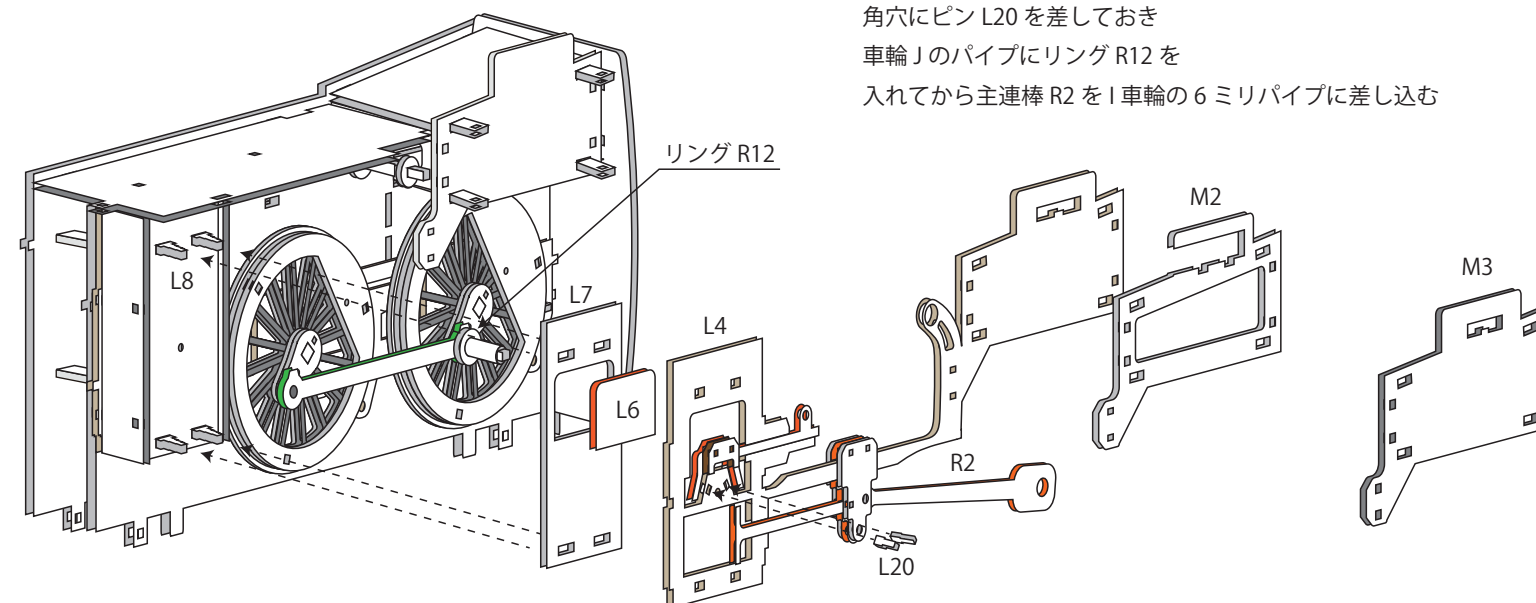


機械部の組み立て



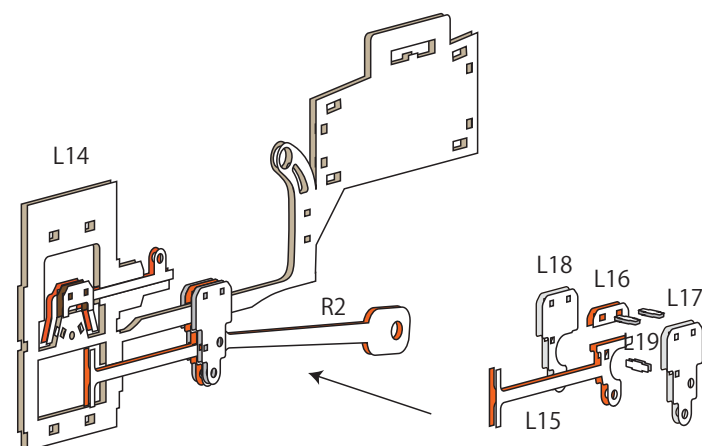
24 エンジン部の土台 L8 他は
台車前部の穴に取り付ける
タンク部のパーツ O2 は
バックパネルに差し込み
裏をクサビで固定する

M1 は O2 と O3 の突起に
穴を合わせて差し込む



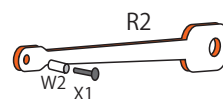
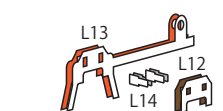
26 蒸気機関のエンジン部分は図の L パーツを
順番に L8 の突起に差し込み
M 側のパーツは M3 を除いて O2 と O3 に差し込む

L4 をセットする時エンジン側の斜めに開いた
角穴にピン L20 を差しておき
車輪 J のパイプにリング R12 を
入れてから主連棒 R2 を I 車輪の 6 ミリパイプに差し込む



25 クロスヘッドは L15~L18 のパーツを
L19 のピン 3 本で L14 のすべり棒を
巻き込むようにセットする

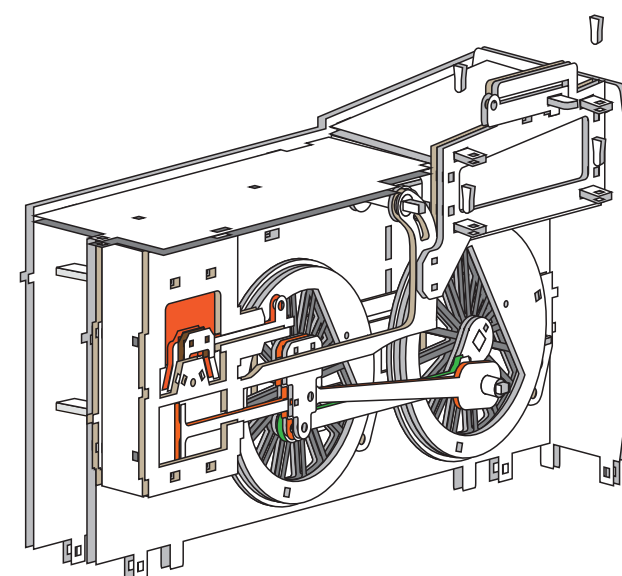
スライド弁は L14 のピンで合体する



主連棒 R2 は 3 ミリパイプ W2 と
ボルト X1 ナット Y1 で
クロスヘッドに取り付けておく

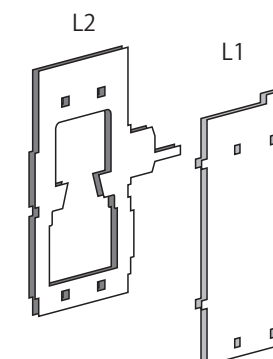
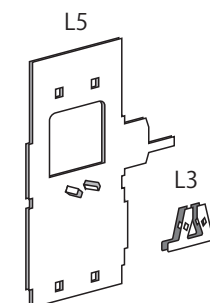
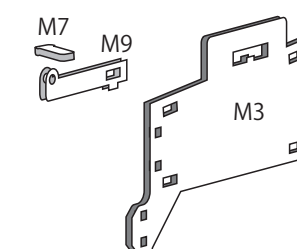
ボルトナット締めは付属のスパナと六角レンチを
使って下さい

スパナ

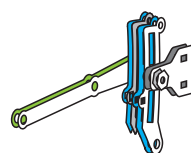
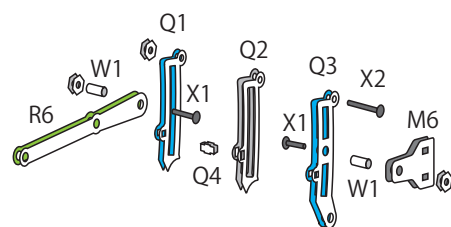


27 逆転機ツマミ M7 は M9 の穴に裏から差した後
M2 のカキコミ部に図のようにセットする

L5 と L3 はピン L20 で合体し L2 もセットする
L1 は天板 O1 を浮かせて突起をはめ込む
最後に M3 もはめ込んだ後
表 4 ヶ所をクサビで固定する



加減リンクの組み立て



完成図

- 28 加減リンクは Q1 パーツの溝に図のように内側からボルト X1 を通しパイプ W1 をくぐらせて R6 をナット Y1 で止める
Q3 パーツもセンター穴の内側からボルト X1 とパイプ W1 を通し M6 をナットで止める
最後に Q1、Q2、Q3 をピン Q4 で止めてから 3 つをボルト X2 でナット止める

ボルトナット締めは付属のスパナと六角レンチを使って下さい

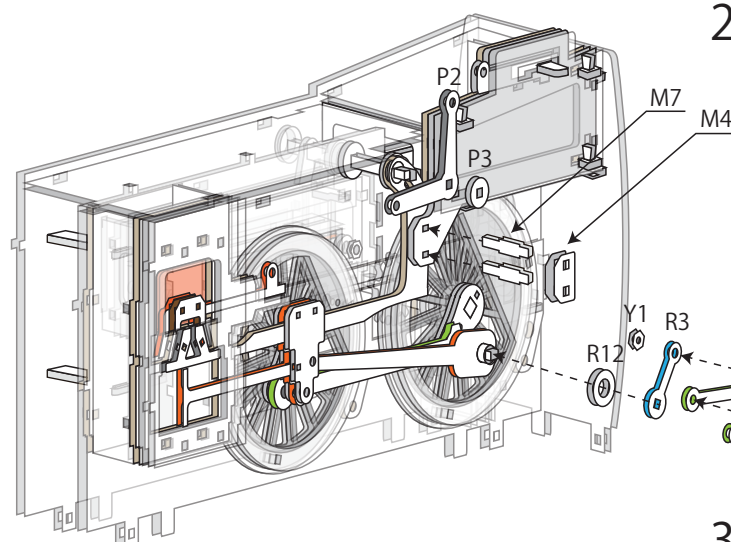


スパナ



六角レンチ

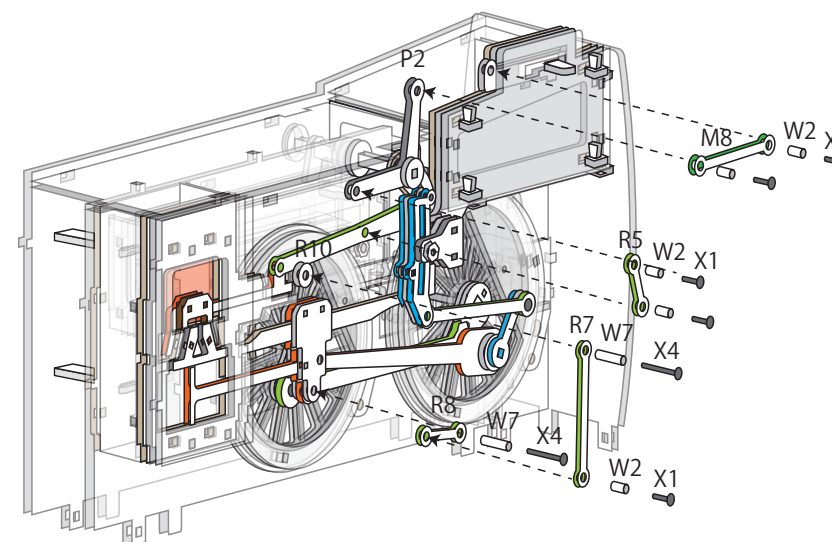
クランクとシャフトの組み立て



- 29 加減リンクの保持パーツ M4 はピン M7 で本体タンク部に差し込む
返りクランク R3 は主連棒のパイプにリング R10 をセットしてから角穴を突起に差し込む
この時の車輪クランクと返りクランクの角度が特に大切なので **パーツの裏表を注意しながら別紙のようにセットしてください**

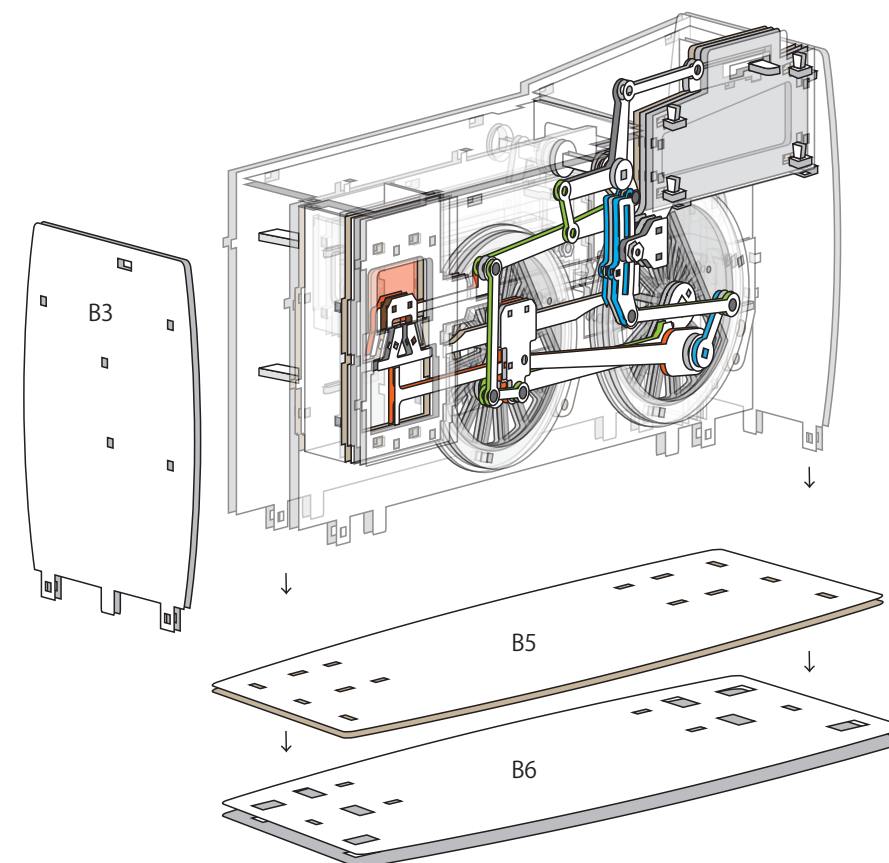
- 30 偏心棒 R4 は返りクランクの先端穴にパイプ W2 を通しボルト X1 ナット Y1 で固定する
一方の穴は加減リンクの下部穴にパイプ W1 を通しボルト X1 とナットで繋ぐ

逆転機ハンドル P2、押さえ P3 は軸に差し込む



- 31 逆転機ハンドル P2 に M8 を繋ぐ時パイプ W2 ボルト X1 ナット Y1 を使う
他のパーツ R5、R7、R8 のシャフトも図の記号通りのパイプとボルトナットを用いる
シャフト R7 上部穴と R6 は間にリング R10 を挟む

記号はパイプとボルトの長さを表します



- 32 サイドパネル B3 はそれぞれの穴を合わせてはめ込みクサビで固定

底板 B5 は全ての穴に突起を差し込み裏の穴あき箇所をクサビで固定する

台座 B6 に摩擦爪を差し込んで完成です

